

No.53 つるべ荘だより 2024.11.11

令和6年9月16日(敬老の日)に長寿を祝う会を開きました。1階ユニット、2階ユニットそしてデイサービスと時間を区切ってお祝いしました。102歳の方2名、101歳の方3名、百寿5名・白寿2名・米寿6名です。入居者の武田氏の歌「瞼の母」職員の踊り「マツケンサンバ」でお祝いし、楽しいひとときとなりました。



社会福祉法人福志会松任
創立二十周年記念式典
日時/令和6年10月19日(土)午前10時30分
会場/2階クロアリーナホール



記念講演
「地域に愛される社会福祉法人・施設」
講師 山野良夫氏 山野良夫氏



講演

式辞 (西村理事長)



祝辞 (田村白山市長)



祝辞
(塗師県健康福祉部次長)

令和6年10月19日 グランドホテル白山において社会福祉法人 福志会松任創立20周年記念式典を、白山市長初め多くの関係各位の臨席、法人理事評議員、つるべ荘やあさひこども園・あさひ児童センター職員等出席し開催しました。

H15年地域の有志により法人を立ち上げ H16年「つるべ荘」を設立、H25年「あさひこども園」を民営化により移行運営、H30年「居宅介護支援センター」を開設、本年8月地域の念願であった「あさひ児童センター」を、10月に「地域包括支援センター光野」を当法人が運営受託しました。時代の要請に応じて、より一層地域の発展に貢献していきたいと思っております。

式典後には、社会福祉法人伯耆(ほうぎ)の国理事長 山野良夫氏の記念講演、そして祝賀会のオープニングには和太鼓が披露され、ご参会の皆様で創立20周年をお祝いしました。



20年のあゆみ報告 (島野施設長)



和太鼓 隼



乾杯 (安実理事・県会議員)



祝賀会

はぎの里は、入居者様に「優しい声掛けをして安心して過ごして頂く」ことに努め、皆がそれを実現できるように、心に余裕がない時は深呼吸をし自分の気持ちを落ち着かせてから接することを心がけて取り組んでいます。

2Fユニット

はぎ・さざんか
もくせい・あじさい

ただ今
準備中



そばと天ぷら



お寿司パーティー

おいしいわぁ♡

盛り付けは
任せて👌



初夏は梅
秋は柿

自然を
おいしく
いただきます



今年のもくせいの里の目標は「ユニット実習受け入れユニットとなり、生活の質(QOL)が向上する。その為に、基本的なケア(食事、排泄等)の再確認を多職種協働で再学習する」を指針、目標として進んできました。6月よりユニット実習受け入れユニットとして稼働し、実習生から「ここに来て勉強できてよかった。入居者の顔を思い出しながら、取り組みます」と一定の評価を頂いております。職員と協力しながら「その人らしい暮らし」のお手伝いを多職種協働で考えていきたいと思ひます。

【ユースチームの取組】

こんにちは。つるべ荘の20代で編成されたユースチームです。若さが取り柄のこのチームは、イベントに参加し地域の方々との交流を深めたり、小学校へ出向き車椅子の使い方等説明・体験してもらい、福祉への理解や協力を促しています。

また、SNSを使いつるべ荘の広告塔として頑張っています。これからも色々とお知らせや施設の日常を発信していきますので、よろしくお願ひします。

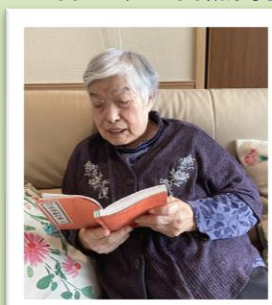


つるべ荘
Instagram



私達さざんかの里のユニット目標は
 「やさしい気持ちで🌸やさしい言葉で🌸やさしい態度で」です。
 「やさしい心で前向きな言葉づかい」を合言葉に、皆さまが穏やかに
 毎日を過ごせるようお手伝いさせていただきます。

日課です「南無阿弥陀仏…」



ご夫婦でお寿司をいただきます



みんなでお茶会

好きなお菓子(ケーキやクッキー)と飲み物で



こちらもご夫婦です



ハロウィンパーティー

あじさいの里です。ユニット目標は、
 入居者に合わせたケアを心がけ、職員
 心を一つにして頑張るです。
 楽しく暮らすお手伝いをさせていただきます
 と思いますので、ご家族様共々よろしく
 お願いいたします。



「ん〜、うまい！」



創立20周年 記念講演を聞いて

【地域に愛される社会福祉法人・施設】 ～ニート・引きこもりの若者支援「いくら郷」の活動から～

山野氏の講演は、ユニットケアの追及と地域福祉の充実に日々奮闘されている事例や、浮かび上がる問題点さらに展望へと心熱いものであった。認知症高齢者の重度化の進行等施設で提供できるケアの限界が見えてきて、これまでの業務中心のケアから利用者個々を尊重したケアの提供がケアの質向上となり、利用者自立支援の具体化や自己実現に繋がると確信し、個々の生活の場づくりを目指しユニットケアに取り組まれている。さらに、ニート・引きこもりの若者のサポートがなくなると増加傾向にあるという大きな社会問題に、「いくら郷」を地域共生社会実現拠点として事業運営し、活動の成果として若者たちの居場所、意欲や成功体験、自立へとつなげていく地域づくり(まちづくり)が、これからの地域福祉へつながっていくということであった。施設の在り方もそれぞれの地域の中で共生していく事が求められると感じた。

納涼まつり

つるべ荘 納涼祭
 令和 6年 7月 27日(土)
 17:15~18:30

17:15~17:30	オープニングアクション (和太鼓 OTOsound)
17:30~17:45	輪踊り みなさん一緒に踊りましょう! ●炭坑節 (2回) ●四方石舞踊 ●かがやバラダンス ●恋のワルツ ●職員ダンス ●アトドル
17:45~18:00	抽選会 お楽しみ抽選会 閉会のあいさつ (施設長)



和太鼓 OTOsound



旭健康クラブダンス



職員ダンス



各ブース職員で協力して準備しました



輪踊りへLet's go



輪踊り (炭坑節)

1Fユニット
 もも・うめ
 さくら・つばき
 おすすめの一枚



焼きいも〜



おやつをパクい!



珠洲から2次避難されていたご夫婦と
 (9月ふるさとへ帰られました)



流しそうめん(実習生と)



沢山の思い出が出来ました。ありがとう♡

健心共和 (けんしんきょうわ)
 健やかに 心豊かに 共に楽しく 和をもって

「みんなの幸せ みんなで創る つるべ荘」
 感謝・やさしさ・あたたかさを大切に

発行元: 社会福祉法人福志会松任
 特別養護老人ホームつるべ荘
 〒924-0005 石川県白山市一塚町1351番地1
 TEL: 076-276-2020 FAX: 076-276-2335
 E-mail: tsurubeso@bird.ocn.ne.jp
 HP: http://fukushikai-m.com